ここにしかない学び、ここだから出会える人たち

地域・社会と共にある学び

島前3島 まるごと学校

地域・社会と共にある学び

地域に飛び出し、課題と向き合い、対話を重ねる。
生徒一人ひとりが「この地域、この社会、この世界の一員として」
自分にできることを考え行動し実践していく。
隠岐島前高校ではそんな意志ある未来の作り手を待っています。

校訓

真理・理想・進取

真理に根ざし理想を掲げ、
新しいことに自ら進んで挑戦する

島根県沖を北へ６０キロ、日本海に浮かぶ隠岐島前地域（西ノ島町、海士町、知夫村）唯一の高校が隠岐島前高校です。隠岐島前高校の学びの舞台は、それぞれに多彩な個性と歴史を持つ魅力的な３つの島。豊かな自然により育まれる地域資源や産業、古くから地域に伝承されている神楽や民謡、俳句といった歴史文化はもちろんのこと、少子高齢化や過疎化、産業の担い手不足などの地域課題に懸命に向き合う本気の大人たちと出会うことができます。

時代や社会環境の変化に柔軟に対応できる

島前高校のグランドデザイン

3つの島がある「島前」ならではの多様な行事と日常の１コマ

島とグローカルに過ごす高校生活

写真協力：岩崎和奏（島前高校生）

島前高校ならではの学びの特徴

変化に柔軟な探究

共通科目で基礎学力を固めつつ、学校設定科目と探究を3年間系統的に取り組みます。習熟度に応じた指導および探究と教科の往還により、基礎力および資質・能力を育成します。

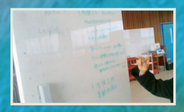
1年次　1年次では、総合的な探究の時間（夢探究）を仕のひとつとして、地域の資源や課題を土台にした学びを展開しています。様々な場面において「気づく→考える→話し合う→実践する・巻き込む→振り返る」のプロセスを重視し、学習と行動の相乗効果を高めています。

2年次　2年次から、普通科、地域共創科のいずれかを選択します。普通科では文系・理系それぞれの進路希望に対応したバランスのよい教科学習を、地域共創科ではより地域に踏み込んだ実践的かつ探究的な学習を中心に行います。

3年次　3年次では、これまでの学びと探究を自分の進路と結びつけ、集大成として深めていきます。探究活動ではテーマをさらに発展させ、成果を発表・発信します。教科学習も進路に応じて重点化し、大学進学・就職など、それぞれの次のステージへとつなげます。

夢探究（全員）

総合的な探究の時間「夢探究」では、生徒が自身の興味や夢を島前地域を舞台に探究活動を行います。地域を歩き、土地の営みに触れること、また地域の人や生徒間の対話を通して「自分を知る」「地域を知る」「学ぶ楽しさを知る」授業です。



グローバル探究（希望制/定員あり）

長期休暇期間を利用して、ブータン、カンボジア、台湾など海外で探究するプログラムを実施しています。そのほかにも、JICAとの協働プロジェクト、学外の海外プログラムの紹介、隠岐國学習センターの英会話など、意志があれば様々な形でグローバルに学ぶチャンスがあります。同時に、毎年留学生の受け入れも行っており、多文化協働的に寮生活を送ることができるほか、個人の短期留学や海外での学びを町が支援する制度もあります。

共創Day（地域共創科）

2年次の「地域未来共創」と3年次の「グローカル未来共創」の授業がそれぞれ6単位（週6コマ）あり、それらの探究科目を１日に集めて週１回「共創 Day」として１日丸ごと地域探究に取り組んでいます。生徒一人ひとりがマイプロジェクトに取り組み、地域のリアルな現場で実践的・探究的に学びます。

地域で育つ、個人で磨く、島ならではの活動

部活動紹介

隠岐島前高校では、運動部・文化部ともに情熱をもって取り組んでいます。部活動を通じて地域の小中学生と交流する機会も多く、地域に見守られながら活動に励んでいます。

運動部

レスリング部／男子ソフトテニス部／女子ソフトテニス部／男子バレーボール部／女子バレーボール部／男子バスケットボール部／女子バスケットボール部／軟式野球同好会

文化部

地域国際交流部
ヒトツナギ部
美術同好会

レスリング部

Pick Up

毎年全国大会に出場しており、日々全力で練習に励んでいます。経験者はもちろん初心者の入部も歓迎しています。レスリングは体力面だけでなく、礼儀や人に対する感謝の気持ちなど精神面も鍛えることができます。

ヒトツナギ部

Pick Up

島前の「人」の魅力を全国の中高生に伝える「ヒトツナギの旅」の企画運営が主な活動です。他にも地域のお手伝いや各種イベント企画など様々な活動を行っています。コミュニケーション力や主体性などの力を培います。

つながる＋まなびや

隠岐國学習センターとの連携

隠岐國学習センターは、隠岐島前高校と連携し生徒それぞれの自己実現を支援する公立の塾です。定期テストや進学に向けた教科学習の支援だけでなく、主体的に自ら学んでいく力を育む「自律学習」、人との対話を通じて自分自身の生き方を描く「夢ゼミ」、生徒自身の「やりたい」を形にする探究活動など、あらゆる場面で伴走しています。

＜夢ゼミ＞
「つながる＋まなびや」として身近な同級生、先生から島内外のゲストまで、多種多様な人との対話と交流の機会を設けています。
また学習センターならではの、日常に根ざした等身大の人と人の交流があります。

知らない誰かと過ごす、充実の3年間

寮の紹介

隠岐島前高校には、鏡浦寮（けいほうりょう：女子寮）と三燈寮（さんとうりょう：男子寮）の2つの寮があります。生徒が共同生活から積極的に学び、振り返ることで、責任を伴う自主・自律の精神を養うと同時に、自他への思いやりを育てる場所になることを目指しています。それぞれの寮にハウスマスターを配置し、生徒の寮運営のサポート、生徒と地域をつなげる役割を担っています。

島の大人との交流で、安心と刺激を

島親制度

島外からの入学生が地域と関わるきっかけとして「島親制度」を実施しています。島前3町村の20代～80代までの多くの方が島親として島前高校生をサポートしてくださいます。休日に畑のお手伝いをしたり、一緒に食事をしたり、釣りにでかけたりと、地域ならではの貴重な経験ができます。島にできた新しい家族として、卒業後も交流を続け、島親さんを訪ねて来島する生徒も多数います。

自分が見つかっても、見つからなくても、そこから見える未来

多様な進路

普通科、地域共創科ともに、卒業後の進路は進学・就職など多岐に渡ります。生徒一人ひとりが個性を活かして進路実現ができるよう、教員、コーディネーター、隠岐國学習センターがチームとなって対応しています。

R７年度卒業進路一覧

島根大学工学部化学バイオ
島根大学教育学部学校教育課程
高知大学理工学術総合研究科
大分大学教育学部
大分大学教育学部学校教育教員養成課程
鳥取県立大学看護学部看護
信州サーバッカ＆システムエンジニアリング
国際医療福祉大学薬学部薬学
武蔵野美術大学プロダクトデザイン学科
プロダクトデザイン専攻
国立看護大学大学部宮城
東洋大学国際学部国際地域
明治大学大学部法学
法政大学人間環境学部人間環境
国士舞大学体育学部こどもスポーツ教育
東洋大学国際学部国際地域
桜美林大学リベラルアーツ学部
成城大学社会イノベーション学部
中央大学経済学部国際経済学科
中央大学文学部史学地理学専攻
帝京大学経済学部学部
武蔵大学社会学部社会学科
早稲田大学人間科学部人間情報科学科
神奈川大学人間科学部人間科
跡見学園女子大学経済学
Co-Innovation 大学教育学部地域共創
Co-Innovation 大学教育学部地域共創
国士大学人文学部人間文化学部
中央大学生命健康科学部スポーツ健康医療
東洋大学生命科学部応用生命科学
京都産業大学こども教育学科
立命館大学理工学部
立命館大学理工学部経済
京都橘大学人文学部国際教養
京都産業大学国際関係学部国際関係
同志社大学文学部哲学科
京都女子大学家政学部生活造形学科
同志社女子大学現代社会学部こども教育
立教大学学院大学地域創造学部地域創造学科
明治学院大学国際学部
貴音大学文学部史
京都大学教育学部
立命館アジア太平洋大学グローバル教育学部
国際医療福祉大学薬学部
梅光学院大学国際学部国際教養学科
近畿大学農業理工学部農業・デザイン学科
明治大学文学部学部総合コンテンツ
立命館アジアパシフィック大学アジア太平洋学部
同志社女子大学学部文・文化部
国際文化理容美容専門学校総合化美容科
NHB日本美容長容専門学校美容科
大阪デザイナーズアカデミーマンガ学科
専修ハッピリーションン学院保育者学科
名古屋モードアカデミア専門学校動物看護学科
杜に看護福祉専門学校看護士科
杜に看護福祉専門大学校保育学科
平川動物公園ライオンスクール総合学科
平川動物公園ライオンスクール総合学科ライオンコース
杜に看護福祉専門大学校美容学科
三島南城学園こども専門学校保育科
株式会社武内建築設備工
和田会松阪厚生クラブ
とどのはえ学院ＴＯＹＯＴＡコース
名古屋大学情報学部人間・社会情報学科
国公立大学：9名
私立大学：40名
短大：1名
専門学校：11名
就職：2名
その他：1名

R６年度卒業進路

国公立大学：10名
私立大学：35名
短大：1名
専門学校：6名
海外大学：1名
就職：3名

R５年度卒業進路

国公立大学：8名
私立大学：40名
短大：2名
専門学校：10名
就職：3名

すぐそばにいろんな人がいるのが、島のよさ

島の人へのインタビュー

隠岐島前高校生　新渡戸 隼さん

中学生の皆に伝えたい。島前高校はとんでもない場所だ！意志があれば大抵何でもできる。仲間が大人、子供問わず沢山いて、悩んだときも本気で語り合える。毎日、可能性と発見が満ち溢れている。ただ一つしっかり悩んでほしい。良くも悪くも、ここは自由だ。答えは示されない。全て自分主体で掴みに行く。心が動いたら、迷っても飛び込んで来てほしい。

隠岐島前高校卒業生　田部 未空さん

私は今、「島前で働きたい！」と決意し、海士町の小学校で勤務しています。高校選択の時に島前高校と出会わなければ、高校時代、熱く面白い仲間・先生・大人との出会いがなければ、今の私はいません。学校生活、部活動、寮生活、地域活動・毎日が刺激的であっという間だった３年間、島前高校を選んで本当に良かったです！

海士中学生　浅井 結生さん

隠岐島前高校には、フレンドリーな人が多くて、学習センター や町のイベントで会ったときには、あいさつをしてくれたり、話しかけてくれたりします！少し関わったただけの人でも声をかけてくれるのでとても嬉しいです！　また、「上下関係があるけど、それを超えて仲良くしている」という雰囲気があって、とても良いと思います！

地域の方　日野 昇さん

島前高校の子たちは、地域の課題に自分事として向き合い、私たち島民と一緒に解決策を考え並いてくれます。地域の探究を通して、自分の得意や苦れない想いに気づき、成長していく。そんな彼らの姿に、私たち大人もハッとさせられ、共に学ばせてもらっています。島での試行錯誤は、一生モノの『自分探究』です。失敗を学び自分を磨く、そんな彼らの挑戦を、私たちは家族のような温かい目線で見守っています。

PTA　渡邊 美保子さん

三島全体を学び舎とし挑戦を続ける生徒を支える保護者も、島前高の大切な一員です。碧燎祭での屋台出店や全力の応援、感動的な火の集いは、親にとっても一生の思い出です。保護者同士のリアルな交流や語り合いは、新たな繋がりを生みます。島前高は、親も子と共に成長できる場所だと実感しています。

島親　松浦 道仁さん

島親をしてほぼ10年。
そもそも「島親」制度は島留学生が学校、塾、寮だけの生活なので、それでは地域との繋がりが少なくなり、卒業してからも止まり木ができるようにと意図したものであった。現実的には生徒とその家族が知わり、今でいえば「関係人口」になったわけである。これからも、3年過ごした地域との繋がりを家族ぐるみで育んでほしい。